

ピンワーク実習の被服教育教材としての有効性

—大学生を対象として—

今 井 裕 子

Effectiveness as Teaching Materials of Clothing Education by Pin Work Practice

—For the University Students—

Yuuko IMAI

Key words : ピンワーク pin work, 実習授業 class practice, 教材 teaching materials, 被服教育内容 contents of clothing education

1. はじめに

高等学校家庭科における被服実習では、主に被服製作が取り上げられ、被服製作に苦手意識を抱く児童・生徒も、ファッションとしての被服には関心が高い。そこで、前報¹⁾では、高校生を対象にピンワーク実習を行い、高校生の興味・関心、評価などの面から検討した。服づくりの準備段階のイメージづくりとして、高等学校家庭科授業にピンワークを取り入れることが有効であることを明らかにした。また、ピンワークによるドレスシルエット作成は、高等学校学習指導要領、専門教育に関する教科「家庭」²⁾において「ファッションデザイン」の内容(2)ウを補完、あるいは発展と位置づけることができた。

ピンワークは、アパレル分野で裁断しない布を使って立体的な被服形状にディスプレイする専門技術である。高校生の授業にピンワークを服づくりの準備段階のイメージづくりとして取り入れることが有効であるので、大学の被服学教育にピンワークを導入することも有効ではないかと考えた。

本報では、大学被服学教育にピンワークに関する内容を導入することにより、①布の特性に興味をもたせる、②布に触れ布の風合いを体感するとともに、被服を体にまとうイメージを想像する、③被服製作の基礎

技術となる布の扱い方とピンの打ち方の技術を習得することができると考えた。授業アンケートからカテゴリー分析を行い、大学においても被服教育におけるピンワーク実習の有用性を検討した。

2. 大学のピンワーク授業内容

2-1 対象学生

授業対象者はF大学2年生(初等教育教員養成課程家庭選修および中等教育教員養成課程家庭専攻)の授業科目「被服学」履修者とし、平成20年度(以下20年度とする)24名、平成21年度(以下21年度とする)19名、平成22年度(以下22年度とする)25名である。

2-2 実習日

平成20年から3年間、協力大学においてピンワークの90分授業を年1回、4月中旬から5月上旬に実施した。

2-3 授業計画

前報¹⁾では100分の授業で、「布に触れ、平面の布から形を作り出すデザイン指導に重点をおいて着装イメージを膨らませる力を育てる授業内容にすることが大切」という反省から、今回は90分と短縮されたため、布見本の内容を割愛した。

題名：被服の構成 ピンワーク

内容：

- (1) 講師とピンワークドレスの紹介 (5分)
- (2) 布を扱う基礎を知る (20分)
- (3) ピンワークの基礎を知る (5分)
- (4) ピンワークによるドレスシルエット作成 (40分)
- (5) まとめと片づけ (20分)

ピンワーク作品の鑑賞と製作グループによる解説
サテン生地の片づけ
アンケート記入

2-4 配布資料

ピンワークの基本的な方法³⁾として、アン・ピエ、ダブル・ピエ、ドレープ、ギャザリング、タッキングを記載したプリントを作成し、配布した。

2-5 準備物

- (1) アン・ピエ練習布

アン・ピエ用の練習布は、45 cm 正方の布 (サテン、八掛け地など) とし、受講人数分を実施大学が準備した。

- (2) ピンワーク用生地

ピンワーク用布はアセテートサテン (朱子織) を用いた。

ピンワークでは、生地の種類により扱い方の難易度が異なり、作品の表情も変わるため、生地選定は重要である。著者は、光沢を味わうことができ、そして完成したピンワーク作品に張り膨らみをもたせることができるアセテートサテンを推奨している。

初年度は前報と同じ幅 92 cm × 長さ 5 m の布 7 枚および長さ 3.5 m の布 1 枚を著者が持参した。2 年目以降は幅 110 cm × 長さ 5 m の布 7 枚 (7 色) を実施大学が準備した。

- (3) ピンワーク用ピンおよび人台

ピンおよび人台 8 体は、実施大学が準備した。

3. ピンワーク授業の検討方法

3-1 アンケートについて

実施したピンワーク授業について、被服教育教材としての有効性を検討するために、授業実施後にアンケートを実施した。

アンケート項目は、次のとおりとした。

- I. 小・中・高校に、布を使った作品製作について製作の有無と作品名

II. ピンワークの授業内容について

- ① 布の扱い (アン・ピエなど)
- ② ピンワークの基礎 (ピンワーク技術)
- ③ ピンワークによるドレスシルエット作成について

以上 3 点についてそれぞれ楽しかったか、もっと知りたいかを尋ねた。

III. 特に良かった内容

IV. 感想 (自由記述)

3-2 集計と分析方法

I については作品種類と分類し作品数を集計した。

II の「楽しかったか」の回答については、前報¹⁾と同様、「楽しかった」回答を 2 点、「普通」1 点、「楽しくなかった」0 点として数値化した。「もっと知りたいですか」に対する回答は、「はい」のみカウントした。

III の良かったところ、IV の感想の内容については、カテゴリー化し、分析を行った。

4. 結果と考察

4-1 授業の実際

4-1-1 「ドレス紹介」について

授業の目的であるドレスシルエットの作成である教師作品を紹介した。

4-1-2 「布を扱う基礎を知る」について

布の組織の中で、今回取り上げるサテン (朱子織) を取り上げ、布の光沢により表裏を知り、光沢の違いと布の張りによりタテ、ヨコについて教えた。また、1 枚の布の中でも伸びが異なり、バイヤス方向が柔らかくドレープがきれいに出ることについて、実物を見せながら実演した。

ピンワークの基礎と位置づけて、次の内容を学生が実習した。

- 1) 45 cm 正方の布を使って、アン・ピエの手法を用いひだを寄せ、ドレープを作った。
- 2) ドレープを巻きながら整え、コム・デ・ローズを作り、作品を完成させた。

4-1-3 「ピンワークの基礎を知る」について

4-1-2 で学んだ中で、ドレープを寄せた布の形を安定させるために「ピン」の打ち方が重要であることを理解させるため、また、布を曲げてピンを打つとピンが曲がらないことを実感させるため次の内容を実習し

た。

- 1) 「ピン」の扱いの基本として、次の2点を説明をしながら実演をした。
 - ①布が引っ張られる反対側にピンの頭が来るようにピンを打つ。
 - ②布が落ちないようにするためにはピンの頭は上になるように打つ。
- 2) ピンワーク用生地でドレープを作り、ドレープのひだに対して直角にピンを打ち安定させ、コム・デ・ローズを作った。

4-1-4 「ピンワークによるドレスシルエット作成」について

講師がピンワーク用のサテン生地を用い、人台がドレスを着ている様にドレスシルエットの実演をした。

次に学生はグループに分かれて、講師の実演と配布資料を参考に、ドレスシルエットをピンワークで仕上げた。

その実習風景を写真1から写真4で、写真4はグループ作品のシルエットの特徴など説明し、他のグループ作品を鑑賞している風景である。



写真1 ピンワーク実習風景 (1)



写真2 ピンワーク実習風景 (2)



写真3 ピンワーク実習風景 (3)



写真4 ピンワーク実習風景 (4)

4-2 授業効果

授業効果として高校生での授業効果と同様な傾向があり次の3つが挙げられる。

- (1) 学生の様相1：学生は通常授業とは違う内容で外部講師ということもあり、興味深く授業を受けていた。
- (2) 学生の様相2：高校時に既にピンワークを体験していた学生は、過去の作品の問題点を理解でき

た。

- (3) 学生作品：ピンワーク実習では1枚の布を人台に巻きつけピンで止め、個性のあるドレスができあがった。

4-3 アンケート回答の検討

質問項目Ⅰの回答結果を表1に、Ⅱの回答結果を表2に、ⅢとⅣを表3～5にまとめた。

表1 小・中・高で布を使った作品一覧

平成20年度	平成21年度	平成22年度
エプロン	枕カバー	ティッシュカバー、コースター
エプロン	エプロン	エプロン
エプロン	エプロン、ブックカバー	エプロン
エプロン	エプロン、デニムポケット	エプロン
エプロン、ナップサック	エプロン、ナップサック	エプロン
エプロン、ナップサック	エプロン、ナップサック	エプロン、ナップサック
エプロン、ナップサック	エプロン、ハーフパンツ	エプロン、ナップサック
エプロン、ナップサック	エプロン、ズボン	エプロン、ナップサック
エプロン、ナップサック	エプロン、ナップサック、ティッシュケース	エプロン、ベスト
エプロン、ナップサック	エプロン、ナップサック、刺し子	エプロン、三角巾、ティッシュケース
エプロン、ナップサック	エプロン、ナップサック、ウォールラック	エプロン、ナップサック、ペットボトルホルダー
エプロン、ハーフパンツ	エプロン、ナップサック、抱き枕	エプロン、ナップサック、筆箱
エプロン、ナップサック、弁当袋	エプロン、ナップサック、クッション、巾着、抱き枕	エプロン、クッション、ハーフパンツ
エプロン、ナップサック、弁当袋	枕カバー、パンツ	エプロン、ナップサック、バッグ、巾着
エプロン、ナップサック、巾着	ナップサック、ちゃんちゃんこ、クッション、巾着、カバン	エプロン、ナップサック、ぬいぐるみ、カバン
エプロン、ナップサック、巾着	ショートパンツ、CDケースカバー	エプロン、ナップサック、テーブルクロス、ペットボトルホルダー
エプロン、ナップサック、ティッシュケース	スカート、かばん	エプロン、ナップサック、ハーフパンツ、ドレス、手提げ袋
エプロン、ナップサック、ショートパンツ	(覚えていない)	ナップサック
エプロン、ナップサック、ズボン	(覚えていない)	ナップサック、シューズ袋
エプロン、ナップサック、ズボン		ナップサック、クッション
エプロン、ナップサック、弁当袋、筆箱		ナップサック、ハーフパンツ
エプロン2枚、ナップサック、クッション、マスコット		チアのドレス
ナップサック、ブックカバー		(覚えていない)
(覚えていない)		(覚えていない)
		(製作しなかった)

表2 ピンワーク授業の内容評価

	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	24名	平均	19名	平均	25名	平均
アンビエについて	48点	2.0点	38点	2.0点	50点	2.0点
アンビエについてもっと知りたい	24	—	15	—	24	—
ピンワークの基礎について	48点	2.0点	36点	1.9点	50点	2.0点
ピンワークの基礎についてもっと知りたい	24	—	15	—	24	—
ドレスシルエット実習について	48点	2.0点	36点	1.9点	50点	2.0点
ドレスシルエット実習についてもっと知りたい	24	—	15	—	24	—

4-3-1 受講生について

今回行ったピンワーク実習は、21年度受講生1名を除き、大学生にとって初体験であった。

4-3-2 小・中・高校で布を使った作品について

ピンワークの授業を受講した学生は、表1より、製作しなかったという1名を除き、製作経験のある学生であった。製作一人当たりの製作点数の平均は、20年度では2.4点、21年度では2.5点、22年度では2.3点とほぼ似通っていた。

作品は、小学校の課題として挙げられることの多いエプロンやナップサックが多かった。作品を記入した学生の内、エプロンの製作は20年度に96.7%の学生が経験していたが、21年度は70.6%、22年度は72.7%と、20年度に比べ20ポイント以上減少していた。ナップサックも20年度は78.3%であったが、21年度は47.1%、22年度は54.6%と減少していた。ハーフパンツやズボン、ショートパンツなど「パンツ類」の製作経験者は、20年度は17.4%、21年度は11.8%、22年度は13.6%であり、わずかな減少傾向であった。3年前まではエプロンとナップサックといった同じ作品の製作経験を持つ学生が多数を占めていた。しかし、2010年の学生が製作した作品数は、他年度の数と変わらないものの、共通の作品製作の経験を持つ学生が半数近くまで少なくなっていることがわかる。

また、一人平均製作数は3年間ほぼ変化が無かったが、製作した学生（作品を覚えていない学生を除く）の中で体に纏う被服（エプロン、パンツ類、スカート、ドレス、ちゃんちゃんこ、ベスト）を製作した割合は、20年度95.7%、21年度94.1%、22年度81.8%と年を追うごとに少なくなっていた。逆に被服作品以外の雑貨作

品のみの製作者の割合は、20年度4.3%（1名）、21年度5.9%（1名）、22年度18.2%（4名）と増加傾向にあることがわかった。

4-3-3 授業内容について

表2より、すべての項目で1.9点以上の高い評価を得た。

- ①アン・ビエについての評価では、3回とも全員が、楽しい、と答えていた。
- ②ピンワークの基礎については楽しくなかったと答えた09年の1名以外は、全員楽しいと答えた。この1名は経験者ではなく、ピンワークは初めての体験だった。
- ③ドレスシルエット実習については、②ピンワークの基礎についてと同様、1名以外は、全員楽しいと答えた。

4-3-4 もっと知りたい内容について

表2より「アン・ビエについて」、「ピンワークの基礎について」および「ドレスシルエット実習について」において、「もっと知りたいですか」の質問に対して「はい」の回答を選ぶ学生は、3項目とも選んでおり、選ぶ項目にばらつきが多かった高校生のアンケートの傾向と異なった。

教員を目指している大学生は、勉強したい、経験したい、という強い気持ちのより、1枚の布から形あるものを完成させるピンワークという体験が高校生いじょうに新鮮であり、体験要求も高いと考えられる。

4-3-5 授業内容への感想等について

アンケート項目ⅢとⅣの自由記述による回答内容を

表3 ピンワーク実習に関する興味・関心について1 (平成20年度)

回答内容	カテゴリー					
	A 創意・工夫	B ピンワーク技術	C 達成・満足感	D 楽しさ	E 次への意欲	F ドレス製作への興味
よかったこと	その他, 感想					
実際の布を触ったり, ピンを触れてドレスシルエットが楽しかった。	○	○	○	○	○	○
実際に自分たちでデザインを考えてシルエットを作成したことが特に楽しく, 興味深かったです。	○	○	○	○	○	
ボディに自分たちで布をまきつけてドレスにしていくというのは, 今までにしたことがなかったので, とても楽しかったし, とても興味をもちました。	○	○	○	○	○	
実際にピンワークをやってみて, 思うようにはいかなかったけれど, 1枚の布が1着のドレスになっていくのがとてもおもしろかったです。	○	○	○	○	○	
ボディに布を巻きつけること	○	○	○	○	○	
ドレスをピンワークしたことが楽しかった。	○	○	○	○		○
ドレスシルエット作成でどのようなシルエットにするか考えたりするのが楽しかったです。	○	○	○	○		
やっぱり自分でピンワークに挑戦してドレスを作成するのがとても楽しかったですし, 興味がわきました。実際にやってみることがどの部分が難いか, どれをどのように工夫すればやりやすくなるのかなど, 発見できたことや分かったことが盛り沢山でした。	○	○	○	○		
実際にピンワークをしてドレスのシルエットをつくったこと。布地を色々見たこと。	○	○	○	○		
3人組でドレスをつくったところ。先生が見本を作っているところをみたこと	○	○	○	○		
実際にサテン布地を使って, ドレスのピンワークをしたこと。アンビエとコムでローズを学んで, パラの形が作ることができたこと。	○	○	○			○
自分たちでドレスをデザインするところが良かったし, 少人数でやれたのもいっぱい作業ができたので良かった。	○	○	○	○	○	
実によく楽しかったが, 実演がとても興味があった。講義の内容も面白く, 基礎的な知識をもっと身につけたいと思った。		○	○	○	○	
特にピンワークによるドレスシルエット作成が楽しかった。		○	○	○	○	

ピンワークによるドレスシルエット作成、ドレス原型の組み立て、立体製図について	被服についてもともと興味があるので、今日まず立体製図が何ともはかたりしないでテーブルでやっていたのに驚きました。ドレスの素材についても知れたし、実際にドレスをピンワークで作成して楽しくて、ますます興味がわいてきました。		○	○	○	○	
1枚の布でドレスをつくり上げるピンワークによるドレスシルエット作成が特に良かったです。	たった1枚の布できれいなドレスを形つくるのができて、とても驚きました。初めて経験しましたが、とても楽しかったです。また、機会があればピンワークをしたいです。		○	○	○	○	
ピンワークによるドレスシルエット作成がすごく楽しくて、かなり集中してやってしまいました。	1枚の布とピンだけで、ここまでのものでできることにすごくおどろいたし感動した。もっといろんな布地や素材でやってみたいと思った。		○	○	○	○	
布地を使って、ドレスを作ったことがとても楽しかったです。1枚の布をピンでつけていくだけで、あんなにドレスのようになるとは思いませんでした。	ドレスを作りたくなりました。布の特徴を知ることで、普段着ているものにも、きっと注目するようになると思いました。		○	○	○		○
ピンワークによるドレスシルエット作成について	初めて、ピンワークというのをしましたが、とても興味深かったです。しかし、ドレスシルエットの作成後、その作品を着られる物にするにはどうしたらいいのか、全く分かりませんでした。		○	○	○		○
ボディに布を作ってドレスを着せていく内容が、とても身についたし、実際にすることで興味ももてました。	自分のドレスなど作ってみたいと思います。		○	○	○		○
バラの花とドレスを作る作業	ピンで止めるだけでキレイな形にできあがって楽しかったです。先生のお話もわかりやすく面白かったです。		○	○	○		
ドレスを作るのがとてもよかったです。	ピンでとめるのが少しむずかしかったけど、すごく楽しくドレスを作ることができました。		○	○	○		
1枚の布でドレスが作れることを知らなかった。先生がみるみるドレスを完成させていく課程をみて自分たちも実際にやってみる体験をさせてもらったところ。実践が大事だと思った。	ピンワークはむずかしかった。すごく楽しかったです。改めて自分は不器用だと思いました。		○	○	○		
色や素材がたくさんあった				○			
合計人数（上段：人）と割合（下段：％）		11	21	23	21	10	5
		46	88	96	88	42	21

表4 ピンワーク実習に関する興味・関心について2 (平成21年度)

回答内容		カテゴリー					
よかったこと	その他, 感想	A 創意・工夫	B ピンワーク技術	C 達成・満足感	D 楽しさ	E 次への意欲	F ドレス製作への興味
布1枚で、ドレスみたいなすてきなものが出来上がって、着てみたいと思いました。平面の布が、花などドレープを作る事によって、立体に仕上がって面白かった。おしりに花を持ってくることによって、とてもセクシーに見えて、きれいでした。	布1枚で、結婚式やパーティにいけるドレスが出来て感動しました。でも、実際に製作するのは大変そうです。初めてピンワークをしてみても楽しかったので、もっとしてみたいと思いました。	○	○	○	○	○	○
5mの布を使ったドレスシルエット作成が特に良かったです。同じ種類の布を使ったのに、違うものに見えるところが面白かった。各班、個性が出ていて良かった。また、小さい布を使って作ったコムデローズも面白かった。	普通の1枚の布がいろいろな形に変わっていく様子が見れて、とてもおもしろかったし、興味が持てました。機会があれば、もう1度やってみたいと思いました。	○	○	○	○	○	
ボディに合わせて工夫しながらドレスの形を作っていたところが良かった。	初めてピンワークをしたが、とても楽しかった。実際にこれを縫ってドレスにして仕上げていくのは大変そうだと感じた。また、ピンワークをしてみたい。	○	○	○	○	○	
布とピンだけで、すごくすてきな立体的作品が出来上がるのが楽しかった。自分の好きなようにアレンジできるのも面白くて、出来上がった8体を並べてみると、それぞれが様々に違って、材料は同じ布、同じピンなのに、すごいなあと思いました。	針がかわいそうにならないために、針を無理やりさすのではなく、「布を曲げてから待ち針を打つ」という発想は今まで気がつかずいって今までたくさん針を折ってきましたので、すごいなあと思うのと同時に、これからはできるだけ針を折らないように、気をつけようと思いました。とても楽しかった。ありがとうございました。	○	○	○	○	○	
グループによって全く違うドレスが出来た。しわの数もバラの位置もばらばらだったけど全部とてもキレイにできてました。バラの大きさや位置によって、バラの雰囲気が変わってくるのが良かった。	今日はマネキンを使って自由に待ち針をさして、やりたいようにやりました。でもマネキンに着せるだけではなく、実際、人にも自由に着せてあげられたらいいなと思いました。5mの布でドレスが出来た事にとても感動しました。とても楽しかったです。ありがとうございました。	○	○	○	○		○
全くやったことのないピンワークが出来て貴重な体験でした。一枚の布でエレガントにまくことが出来るのは驚きでした。それぞれの班で個性も出ていて良かった。	とても難しそうでしたが、面白くて服飾に興味が湧きました。ピンと布のみでさまざまな姿に作れるのはすごいと思いました。	○	○	○	○		
コムデローズは少し難しかったけど、巻くのが楽しかった。ピンワークは初めてだったけど全体的に楽しかった。	最初は面倒臭そうと思ったけど、実際やり始めると、ドレープの大きさとか、ちょっとしたことで印象が変わるのが面白いと思いました。	○	○	○	○		
ボディにそって布の形を変えていくという事が、今までは型を作ってつなげていく製作方法が多かったので、新鮮で楽しかった。ひとつ手を加える事で、先とはまったく違った形が生まれるといった布の特徴を肌で感じる事ができ、とても楽しかった。	高校のときに文化祭で学校にあるボディを使ってドレスを作る機会があったのですが、何の知識も無いまま作っていたので、あの頃の間違いやかまく行かなかった点等、今日知りました。	○	○	○	○		
それぞれの班がすべて違う雰囲気のドレスを作った事や布も緑色や青や黒でもドレスにするのとたんであった状態の時とは全く違うキレイなものに見えた事が印象的でした。思っていたよりも簡単に出来たし、とても面白かった。		○	○	○	○		
実際の布をボディに巻きつけるところが良かった。コムデローズを作るのが良かった。	アンビエ、ドレープ、コムデローズと、基本的なものは、一緒なのに、ボディに巻きつける時に人によって全然違ったドレスに変わるのに感動しました。ピンワークにとっても興味が湧きました。	○	○	○	○		
自分達で自由に作れるのがとても楽しかった。ドレープ作りはななめにしたり、緩ませたりして自分達の個性を出せた気がする。	とても楽しかったです。最初に前においてあるのを見て、こんなのが自分達だけで出来るとは、思ってもいなかったけど、やってみると楽しくて意外と出来たりしてとてもいい経験になりました。	○	○	○	○		

ローズを作るのが、力の入れ具合や筋の作り方でけけこう違うので、とても面白かった。ドレスシルエット作成で、ピンをさしていだけで服みたいにきれいになっていくところを自分で体験できて、すごさを感じ取れた。アレンジが自由に出来るところがよかった。	初めてピンワークというものを教わって、実際にやってみると、想像以上に単純でビックリしました。しわの入れ方でドレス自体が変わるところが面白かったです。ローズ作りの大きさや付けるところを変えると、様々なドレスに仕上がっていて、他のドレスを見るのも楽しかった。布1枚からの大変身で感動しました。	○	○	○	○		
コムデローズが作れて楽しかった。	全く知らない内容で、新鮮でした。1枚の布が様々なアイデアで変化していくのを見るのは、楽しかったです。	○	○	○	○		
自分達で自由に作れたのがすごく楽しかった。色々自分達で工夫しながらピンワークできたので、それぞれの個性が出ていておもしろかった。またピンワークやってみたい。	ピンワークをやったのは初めてだったけど、すごく楽しく出来ました。実際にボディに巻いてみると布の映え方も違ってきていて面白かった。	○	○	○	○		
実際にやってみるところが良かった。自由にしてよいところが良かった。	最初は面白くなさそうと思ったけど、実際にやってみると難しかったし、色々考える事や、工夫する事があって楽しかった。今度、友達の結婚式があるので、どんなドレスを着てるか、勉強してこようと思います。	○		○	○		○
布1枚でドレスみたいに作る事ができて楽しかった。布だけで見たときと、ドレスの形にしてみたときの布の見え方が違ってびっくりしました。	もっと実習をやってみたいと思いました。			○	○	○	○
1枚の布から素晴らしいドレスができたことにとても感動しました。自分で作るとしたら、とても大変なのだろうと思いました。アンビエを作るのが、最初は大変でしたが、何回か練習するうちに少しずつコツがわかり、上手にできるようになりました。	とても楽しかった。ぜひまた作成したいなと思いました。			○	○	○	○
実際のドレープやローズを作ったところが良かった。	自分でもビックリするくらいオシャレなのができてよかった。		○	○	○		
被服は苦手です。							
合計人数（上段：人）と割合（下段：％）		10	12	13	13	2	1
		53	63	68	68	11	5.3

表5 ピンワーク実習に関する興味・関心について3 (平成22年度)

回答内容		カテゴリー					
よかったこと	その他、感想	A 創意・工夫	B ピンワーク技術	C 達成・満足感	D 楽しさ	E 次への意欲	F ドレス製作への興味
ピンワークによるドレスシルエット作成がとても楽しかったです。	アン・ビエやピンワークは皆初めてなのにぜんぜん違った個性が出ていて作るのも見るのも面白いなと思いました。今までピンワークの授業もなかったのが初めてだったけど本当に楽しくてもっと学んでみたいなと思いました。	○	○	○	○	○	
3人組で実際にドレスシルエットを作ることが楽しかったです。	まずバラを作るのだけで、ピンワークは楽しいと思いました。ドレス作りでは、布が大きいのもありなかなかうまくできないところもあったけど、みんなで考えながら作れて、一枚の布でここまで作れるのかと感動しました。ただ、なかなかきれいなバラが作れなかったのも、もっと練習して作れるようになりたいです。あのバラを使って、いろいろ個性的に作ってみたいと思いました。自分は不器用だけどとても楽しかったです。	○	○	○	○	○	
ドレスのシルエット	針の止め方をまちがって針を曲げてしまったところ。工夫次第でいろいろなドレスになること。すごく楽しかったです。もっといろいろなドレスを見たり、作ったりしてみたいと思いました。	○	○	○	○	○	
アン・ビエの作り方を初めて知って感動でした。あと、ピンを打つときに、力の加わる方向に向かって打つと布がずれないと知り、驚きました。	布が厚い部分にピンを止めるのが難しかったです。バックに大きなりボンを付けたのがポイントです。とても楽しかったです。他にもいろいろ作りたいです。布1枚でドレスができるなんて感動しました。機会があれば、また挑戦したいです。	○	○	○	○	○	
ドレスシルエットを実際に作成してみるの楽しかったです。グループによってデザインが違って、デザインを考えながら作るのが良かったです。	ドレスピンは、力のかかるほうに向かってさすこととくことを学びました。ピンだけであの大きさの布をささえるのは難しかったです。最初に小さいバラを作ったとき、結構簡単にこんなにかわいいバラができるんだと思いました。ドレスシルエットは難しかったけれど、楽しかったので、もっと上達したいと思いました。	○	○	○	○	○	
友だちと協力して、実際にドレスを作ってみて、最後にファッションショーをしたこと。	布1枚で、きれいなドレスを作ることできてとても驚いた。ピンと布1枚で、ドレスが本当にできて、とても驚いた。最初のアン・ビエという方法は難しかったけれど、先生に教えてもらってできるようになったのでよかった。ピンワークは、一人ひとりの個性が現れるので、個性豊かな作品が完成し、とてもおもしろかった。先生の話聞いて、自分もウェディングドレスを作りたいなと思った。	○	○	○	○		○
実際に布を使って、自由にマネキンに着せることができたこと。	一枚の布から、こんなにも立体的な衣裳を作ることができることがわかりました。最初マネキンに着せているのを見て、すごいな、と思いました。まさか自分達ができると思っていなかったもので、実際にやってみて、すごく感動したし、楽しかったです。	○	○	○	○		
自分達で作れるとは思っていなかったの、自分達で考えてドレスを作れたところ。	布1枚でこんなにきれいなものが作れるということを実感しました。思っている形をそのまま表現するのは難しいと感じました。今までしたことなかったピンワークができてとても面白かったです。洋服など形を考えるのは苦手だと感じていましたが、友人と一緒にできて、楽しかったです。	○	○	○	○		
ドレスシルエットを作るのが楽しかったし、他の班のドレスを見るのも勉強になっておもしろかった。	材料（使っているもの）は同じなのに、それを作る人や技術によって様々なものができて無限にデザインがあるなと思った。なかなか日常では体験することのない体験ができて、よかったです。この分野に興味を持つことが出来ました。	○	○	○	○		
ドレスをつくる。	布1枚で、バラを作って華やかに見せることができたり、さまざまなデザインを作ることができることを学びました。とても楽しかったです。	○	○	○	○		
実際に自分達で作るのがとてもよかった。工夫してできたので、とても楽しい授業であった。	ピンを目立たないように付けるのは難しかった。とても楽しい授業でした。先生のアドバイスも頂いて、楽しく作ることができました。もっと知りたいと思いました。	○	○	○	○		

ドレスを作るのがとてもたのしかったです。1枚の布からあんなにきれいなものができるとは思ってなくて感動しました。その人の個性が出ていて良かった。全く同じものができるまで毎回違った表情になるところがステキだと思った。	このような技術があるとは知らなくて今日、作り方ともおしえてもらい良かったです。ピンで留めるのは少しむずかしかった。今までやったことのない授業で新しいことが学べてよかったです。	○	○	○	○		
ドレスシルエット作成は、すごく楽しかったです。見ているだけでは、わからないことがたくさんあったけど、実際にやってみて、難しいけど楽しいということに気づきました。	アン・ビエはなかなかコツがつかめなくて、難しかったです。ピンのさす方向を学びました。同じ一枚の布なのに、どの班も違う雰囲気になって上がっていてすごいと思いました。すごく楽しかったです。	○	○	○	○		
ピンワークでドレスを構成するのが楽しかった。あと、アン・ビエを作るのも楽しかった。	ピンを見せないようにしたり、アン・ビエを作るのが難しかったです。布をバイアスに使うことで、様々な形に作ることができることがわかった。布1枚でこんなに様々な表現ができるのはとても楽しいなと思った。	○	○	○	○		
大がかりと思っていたドレスをとても簡単にきれいにまた、作ることができたこと。基礎的な技術を少し教えてもらうことで、工夫すればいろいろな形のドレスを作ることができたこと。	ピンのさし方を工夫するだけで、布を頑丈に固定することができました。布の巻き方、ピンのさし方、どれも工夫が大切だと思いました。きれいなドレスがピンだけで作ることができてとても感動しました。とても楽しかったです。	○	○	○	○		
ドレスをボディに着せていくのが楽しかった。	同じやり方でも全然ちがうものになり、1枚の布で何通りものデザインができるんだなあと思った。大きな布を使うのはすごく難しかったです。ピンワークを初めてやったけどすごく楽しかった。アン・ビエは小さな布でした時にはうまくできたけど、大きい布でしたら、なかなかうまくいかなかった。同じ1枚の布なのに、他の班の人ののはどれも違って、丈の長さとも違って見ててすごくおもしろいと思った。	○	○	○	○		
アン・ビエを最初につくるのが難しく感じたが丁寧に教えてもらうことで理解できました。目の前に来て間近で手本を見せていただいたので良かったです。実際にドレスシルエットの作成が出来て楽しかったし、他の班のアイデアもすごく面白かったです。	ピンワークでのピンのさす方向を学ぶことができました。自分たちの班でオリジナルのドレスシルエットが作成できたので良かったです。他の班のアイデアも思いつかないのもあってすごいと思いました。ウエストあたりを作るときがうまくいなくて難しかったです。	○	○	○	○		
一枚の布からピンひとつでバラドレスができて、とても楽しくて、キレイさに驚きました。	ピンのとめ方が一番予想外で、勉強になりました。アン・ビエを作るのもピンをとめるのも基本を知れました。材料は同じだけど作る人によって全く違う作品ができて、とても楽しかったです。	○	○	○	○		
アン・ビエを作る練習が良かったです。最初はできなかったのですが、練習してコツがつかめたら、とても楽しかったです。また、アン・ビエを利用してつくるバラは、最初とても驚きましたが、それが自分の手によって出来たとき、とてもうれしかったです。	ピンワークでひっぱられる方向にピンをさすと、キレイにとまってとても驚きました。また、ドレープをつくるのが、けっこう難しかったので、機会があったらうまくできるようにしたいです。初めてピンワークをして、布はこんな簡単にとまるのだと驚きました。発想によって様々なドレスが完成していたので、おもしろかったです。	○	○	○	○		
布1枚で様々な表情をしたシルエットができるところが楽しかったです。	色によっても印象が変化すると思いました。平たい布1枚を立体的にまとうことによって、とても華やかになって、きれいだと思った。	○	○	○	○		
ドレスのシルエットの作成 一人ではなく3人グループでの作成だったので、楽しかったし不器用な自分でもカバーしてもらえた。	布が行こうとする方向に向けてピンをさすというのに感激とゆうか、すごいなと思いました。普段の生活ではきつと（これからも）しなと思われることが体験できて、すごく良かったです。でも、これからの生活において使えるかと言われると少し限られてくるのではないかと思います。でも、髪留めとかブローチとか作ってみたいです。	○	○	○	○		
アン・ビエ、ダブル・ビエで、ばらを作ったこと。	人間の原寸大のマネキンに、布をまとわせるのは思ったよりも難しかったです。ピンで留めるのもだいぶ苦労しました。バラを作るのも難しく、マネキンにつける大きなバラはもっとやりにくくて全体的に崩れかけた感じになってしまいました。初めての体験で楽しかったです。		○	○	○		
待ち針と布とマスカンさえあれば、ディスプレイ用としての布が作れることに大変面白さを感じました。しかも、あつというまに全体の形もできて、楽しいと思いました。	先生がおっしゃったとおり、ピンのさす方向で上手くまとまったりとまらなったりして、勉強になりました。また、ななめ45°に布を折り引っ張ったらすごく伸縮して驚きました。マスカンは、どこに売ってあるか探してみたくまりました。本当に楽しい1時間でした。	○	○	○	○		
ウエストの部分を布で引っ張って作ったり、ひだを作るのがすごく楽しかったです。	ていねいに布を扱わないと、しわができてたり変なところに輪っかができたりする。全体的に1枚の布で1つのドレスができるということに驚き、感動しました。	○	○	○	○		
つくること				○			
合計人数（上段：人）と割合（下段：％）		19	22	23	21	4	1
		76	88	92	84	16	4

次の6つのカテゴリA～Fに分けることができた。本報では、ドレス素材に関してあまり取り上げなかったため、カテゴリAは前報の「素材の知識」を「創意・工夫」に替えた。

- ・カテゴリA「創意・工夫」:
(例) 自分達で作るのがとても良かった。
- ・カテゴリB「ピンワークの基礎(技術)」:
(例) ピンの刺す方向を学ぶ事ができました。
- ・カテゴリC「達成感・満足感」:
(例) 完成したときはとても嬉しいと思いました。
- ・カテゴリD「楽しさ」:
(例) とても楽しかったです。
- ・カテゴリE「次への意欲」:
(例) もっと上達したいと思いました。
- ・カテゴリF「ドレス製作への興味」:
(例) ドレスを作りたくなりました。自分で着てみたい。

カテゴリA「創意・工夫」とは、講師から指示されたとおり、あるいは資料に記載されたとおりでなく、自分たちの意見で、自由に、あるいは、グループによって個性的なデザインができる、とのカテゴリとした。20年度は50%、21年度は79%、22年度は84%と増加している。Ⅲの「よかったこと」やⅣの「その他、感想」にグループで自由にできてよかったなどの創意工夫に関する記述が多いのは、グループの中で互いに手順や方法等を確認できる体験学習が受け入れられているのではないかと推察される。

カテゴリB「ピンワーク技術」、カテゴリC「達成・満足感」、およびカテゴリD「楽しさ」については、3年間とも学生の90%に記述が認められた。大学に入って初めてピンワーク実習を体験したことによって、これら3カテゴリの有効性は高いと言える。さらに、高校生時代に文化祭で人台を使ってドレスシルエットをつくった経験がある1名の学生も、「新鮮で楽しかった」と記述していた。さらに「何の知識も無いまま作っていたので、あの頃のうまくいかなかった点等、今日知りました」とも記述しており、実習回数を重ねることにより、その思考が深まるという学習効果が認められた。

「ピンワーク技術」、「達成・満足感」、および「楽しさ」の評価は高く、「創意・工夫」への評価も、年を追うごとに高くなっていることから、人体への被服の着装イメージ作りのための手段として、ピンワークは有効である事が推察される。

一方、カテゴリE「次への意欲」は、20年度は46%、21年度は32%、22年度は24%と、年を追うごとに減少した。カテゴリF「ドレス製作への興味」は、布を人台に着せるピンワークのドレスへの興味ではなく、人間が着る服を意識したような記述のカテゴリとした。今回はピンワークによるドレスシルエットをつくるが、ドレス製作への興味に発展するかどうかを検討した。カテゴリF「ドレス製作への興味」の記述割合は、20年度は25%、21年度は16%、22年度は4%と激減した。

「同じ種類の布を使ったのに、違うものに見えるところが面白かった」「布だけで見たときと、ドレスの形にしてみたときの布の見え方が違ってびっくりした」「おしりに花をもってくることによって、とてもセクシーに見えて、きれいでした」など、着装した服のイメージについて記述があった。製作経験では、エプロンやナップサックのような小物や身体の一部だけを被うエプロンしかない場合が多い中、ピンワーク実習は被服を体に纏うイメージを高める教育として有用と言える。

5. ま と め

大学における被服学教育にピンワークに関する実習内容を導入することについて、授業アンケートの内容をカテゴリ化して検討した。

今回の研究から、①布の特性に興味をもたせる、②布に触れ、布の風合いを体感するとともに、被服を体に纏うイメージを想像する、③被服製作の基礎技術となる布の扱い方とピンの打ち方の技術を習得することができる、以上の3点が可能であると明らかとなった。

大学入学までに布を使って製作した作品の種類や数にかかわらずピンワークによるドレスシルエットの作成は、服のイメージ作りの1方法としても、大学生に効果があったと言える。

大学においても、被服教育におけるピンワーク実習の有効性が認められた。

謝 辞

本研究実施にあたりご協力いただいた、福岡教育大学家政教育講座教授 長山芳子先生に深謝いたします。

参 考 文 献

- 1) ピンワーク実習による布および衣服への興味と関心—高校生を対象として—, 広島文化短期大学

- 紀要, 41, 41-49 (2008)
- 2) 文部科学省, 高等学校学習指導要領 第3章 専門教育に関する各教科 第5節 家庭編 (平成11年3月告示, 14年5月, 15年4月, 15年12月)
- 一部改正)
- 3) 笹原紀代著 文化ファッション講座「ピンワークディスプレイの基礎」(文化出版局)

Summary

As a special teacher, I gave an extra lesson in The University students.

It was decided a lesson title of a pin work practice from what students are able to cultivate the imagination of dressed style.

I have surveyed what universal students showed interest and concern in this lesson.

As a result, the following thing was understood.

University students have the interest in pin work technology, and they have pleasures of creation of dress silhouette.

It's found that a pin work practic for university students is effective as educational teaching materials of clothing.